



筑波大学メールマガジン

ペデジャーなる 2020 年 - 秋号 -



OG・OB と学生を結びながら、懐かしさと新しさ香る筑波の風を
季節の便りとしてお届けしていきます。



***** INDEX *****

1. 『コロナ禍の卒論執筆～文系学生の場合～』／木村誠
図書館の利用制限が大打撃
2. 『美味しい物産品をありがとう』／吉永真理
つくば市からのプレゼント
3. 『隠れ家的な焼き菓子屋さん』／山野実菜
地下に潜む美味しいもの
4. 『文字の力を感じる読書』／牧田宗大
筑波大卒業生が松本清張賞受賞



1. コロナ禍の卒論執筆～文系学生の場合～



卒業論文。多くの卒業生の皆様もちょうど今の時期、取り組まれていたのではないのでしょうか。今回は、人文学類で日本近代史を専攻している筆者の、コロナ禍での卒論執筆をご紹介します。

・コロナで附属図書館やサテライト室が利用制限

多くの学生にとって、研究・執筆を進める場となるのが附属図書館です。文献が豊富にあるうえ、自習スペースや共用パソコン（全学計算機パソコン）、プリンターが揃っているため、卒論に集中できる場所です。

しかし、筑波大の附属図書館は4月21日から6月18日まで臨時休館となりました。その後も開館時間を9～17時に短縮（コロナ前は8時半～24時）した上で再開しましたが、閲覧スペース（閲覧席やセミナー室、研究個室など）や共用のパソコンが使用禁止となるなど、利用には大きな制限がかかりました。その後、開館時間が徐々に延長され、現在は8時半から22時まで開館しています。

共用パソコンやプリンター、スキャナーが使える「サテライト端末室（通称：サテ室）」（筑波キャンパス内に全16カ所）も、コロナの影響で4月20日から6月21日まで全て使用できなくなりました。6月21日からは1カ所のみ使用可能となりましたが、利用時間が8時半から18時までで、使用できる台数も限られています。コロナ前は24時間利用できるサテ室もあったので、学生にはかなり不便な状況です。

この状況で、私にとって最も痛かったのはプリンターが利用できなかったことです。電子化が進んだ現代ですが、やっぱり「紙」で読みたい派。文献をコピーしたり、書いた原稿を印刷して推敲したりするなど、卒論にはなくてはならないアイテムでした。そこで、筑波大から支給された「学生のための緊急支援金」を使い、スキャナー付のプリンターを購入しました。



(購入したスキャナー付のモノクロプリンター。コピーもできます。これでコンビニなどへ行かなくても印刷できるようになりました。)

ここで使用させていただいた「学生のための緊急支援金」は、筑波大が5、6月に全学群生に対して一律1万5000円、一人暮らしの学群生には追加で1万5000円を支給した取り組みです。財源は教職員や卒業生からの寄附、筑波大学基金などでまかなわれました。卒業生を含む学外の方からは約5000万円、クラウドファンディングでは約2800万円をご支援いただきました。ご支援いただいた卒業生の皆様にこの場を借りてお礼申し上げます。

・国立国会図書館も入館制限

附属図書館だけでは、どうしても卒論執筆に必要な先行研究や史(資)料はそろいません。そこで利用するのが、東京・永田町にある国立国会図書館です。

国会図書館もコロナで3月5日から6月10日まで臨時休館となりました。6月11日からは、1日に入館できる人数を制限した上で、「予約抽選制」になりました。利用したい日に応募して、当選すれば来館できるという仕組みです。が、応募者が多く、なかなか当たりませんでした。肌感覚では、70%くらいの確率で外れていたような気がします。当選した友達に資料のコピーをお願いすることもありました。

11月4日からは平日の16時以降に限り、やっと予約せずに入館できるようになりました。本当に助かりました。



（本題とは関係ないですが……私の国会図書館での一つの楽しみ（？）である食堂の人気メニュー、その名も「図書館カレー」。牛丼の具とカレーを合い掛けにした、ユニークなメニューです。ただ、新型コロナの影響で事業継続が困難となり、10月20日に閉店してしまいました。残念です。）

人文学類の卒論提出日は12月25日、他学類も12月中旬から1月末頃が提出日となっているようです。コロナ禍で多くの制限がある中の卒論執筆とはなりましたが、貴重な経験ができていると捉え、創意工夫で乗り越えたいと思います。

卒業生の皆さんも、久しぶりにご自身の卒論を読み返してみてはいかがでしょうか。

お読みいただきありがとうございました。

（人文・文化学群人文学類4年 木村誠）



2. 美味しい物産品をありがとう



少し前のことですが、「つくば市がコロナで帰省を自粛している学生に向けてつくばの物産品を無償提供している」との噂を耳にしました。半信半疑で市のホームページをのぞいたところ、本当にありました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため帰省を自粛している学生へ、つくばのおいしさが詰まった物産品セットをプレゼントします。



つくば市出身で県外に住んでいる学生には遠く離れた地でもふるさとのつくばを感じてもらえるように、県外出身でつくば市に住んでいる学生には改めてつくばの魅力に触れてもらえるように、物産品の詰め合わせをお届けします。

この機会につくばの魅力的な物産品に触れてもらい、好きな商品に出会えたら今度はぜひ家族や友人にもおすすめしてみてください。

(つくば市のホームページより)

こんな素敵な機会を逃してはいけない、と急いで申請したところ、8月末に想像よりも大きい箱が届きました。中身はつくば産や茨城産の食材を使った以下の6点で、とにかく豪華！（自分が選んだセットの他にも、お菓子の詰め合わせや焼肉セットなどもありました）

- ① 男女川純米無濾過
- ② 季節のドライフルーツ
- ③ 霧筑波特別本醸造
- ④ 筑波山名物みよこの七味
- ⑤ 干しいたけ
- ⑥ ひたち屋豆菓子





どれも美味しくいただいたのですが、中でも⑤の干ししいたけで作った煮物は絶品でした！④の七味をかけても美味しく、両親にもおすそ分けしたところ好評でした。今まで知らなかったつくばの食材を堪能でき、地元愛(?)のようなものが芽生えた気がします。

つくば市、ありがとうございました！

(生命地球科学研究群 生物学学位プログラム1年 吉永真理)



3. 隠れ家的な焼き菓子屋さん



コロナのご時世で閉店に追い込まれるお店もある中、毎回大盛況で売り切れも出る焼き菓子屋さんがあります。その名も「aNTENA」。天久保1丁目の小さな建物の地下へ階段を降りると素敵な音楽と良い匂いに包まれた空間が現れる、というとっても隠れ家的なお店です。

数種類のマフィンやスコーン、タルト、ケーキの他、アーティストさんとのコラボグッズや手作りマスクなどの販売もしています。実際に行ってみると、旬の果物などをふんだんに使っているようで、10～11月にはイチジクやマロン、さつま芋などのお菓子が多くありました。今回は和栗のモンブランタルトを紹介したいと思います

王道のモンブランらしい見た目ですが、味わいもとても濃厚な和栗を感じるものでした。なんと上にのっているだけでなく中にも和栗が入っているんです。しっかりと土台のタルト生地とクリームがバランスよく積み重ねられており、少しずつ味わっていきたい深みのある一品でした。



これ以外にも沢山の素敵なお菓子たちが販売されています。季節によってメニューの変更もあるので飽きることもなさそうです。Instagramにてメニューの紹介がされているので、ぜひチェックしてみてください。人気の商品はすぐになくなってしまいうので、InstagramのDMやメッセージ等で予約することも可能だそうです。お店が開いているのは火曜日と金曜日の11時からと日数少なめですが、ぜひぜひこの素敵なお店に立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

Instagram：yakigashi_antena

(人文・文化学群 比較文化学類4年 山野実菜)



4. 文字の力を感じる読書



『或る「小倉日記」伝』、『点と線』等で知られる作家、松本清張を記念した賞、松本清張賞。今年の5月、日本語・日本文化学類を卒業した千葉ともこさん（平成12年度日本語・日本文化学類卒業）のデビュー作、『震雷の人』（文藝春秋刊）がその第27回賞に選ばれました。

今号では読書の秋ということもあり、同作の紹介をさせてもらおうと思います。

舞台は唐代中期の中国。世界史で習ったことも多いはずの「安史の乱」をきっかけに物語が進行していくことから、西暦755年ごろの話だと推測できます。安祿山や玄宗など、歴史上の人物が登場したり、当時の食べ物や交通の仕組み、統治機構なども登場したりと、歴史好きな人がニヤリとできる場面があります。千葉さんの丹念な取材に裏打ちされた歴史描写が本作の一つ目の魅力でしょう。

さて、物語は唐の首都、長安から東北に800キロ、平原（現在の山東省付近）で幕を開けます。平原軍の大隊長、張永。その妹で武術の達人、采春。采春の婚約者で文官を目指す顔季明。この3人が歴史の変化という大きな運命に、時に流され、影響を受け、そして抗う様が描かれていきます。

本作の二つ目の魅力は、彼ら、特に張永と采春兄妹の生き様だと考えます。

気の良い軍人と武が取り柄なだけの2人が「書の力で世を動かしたい」と語る季明に触発され、地方で一生を終えるはずだった人生を安史の乱という大きな流れに乗って変化させ、やがて国の行末にまで関与し始めます。

作中で描かれるのはわずかに2年ほどですが、それを通して2人は平原を出て落ち延びた皇帝の下や首都長安、戦場など様々な場に赴き、戦い、それぞれの人生観や国家観を抱くようになります。その変化やきっかけ、たくさんの登場人物との関わりが丁寧に描かれていて、彼らの人生をリアルに体験できるような読書感が見事だと感じました。

ここで、私が一番好きなキャラクターを紹介したいと思います。

名前は福娘。采春が長安で身を寄せた興行一座の長で、唐代を強かに生きる女性です。

最初は美貌と芸で権力者に上手く取り入る狡猾な人物として登場しますが、采春と交わるうちに嫁ぎ先で義父に虐げられた過去や実家が離散したこと、娘を喪ったことなどの過去が明らかになっていきます。采春にとっては、「私は今でも、唐なんか滅びればいいと思ってる。(中略)でも、私が斃してほしいのは唐朝よ。街を壊し、民を殺してほしいわけじゃない」という福娘の言葉が国とは何か、何のために存在するのかと考えるきっかけになりました。

福娘は千葉さんのオリジナルキャラクターだと思われます。しかし、史書に記されない人物でも、彼女のように強く生きて現実と戦った人は数多くいたに違いありません。

史実を舞台にしながらも、市井の人々に目を向け、その人生や想いを描いていることが最大の魅力だと私は感じました。福娘以外にも、僧侶の志護や張永の部下白泰など、個性豊かな人物が登場します。

本作のタイトル、『震雷の人』は季明の言葉、「一字、震雷の如し」(一字が人の心を動かし、やがて世を動かす)から来ていると思われます。その言葉通り、李明の言葉は張永と采春、そして安史の乱の首謀者安祿山の息子、安慶緒たちの心を動かし、彼らの行動が世の中を動かしていきます。千葉さんの文章も、誰かの心を打っているのではないのでしょうか。

残り少ない学生生活ですが、心揺さぶる文章にもっと出会えるよう、色々な本を読んでいきたいです。

(社会・国際学群 社会学

類4年 牧田宗大)



編集後記

最後までお読みいただきありがとうございました。編集長の吉永です。

寒暖差の激しい11月でしたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。つくばでは街路樹が美しく色づいています。鮮やかな紅葉のトンネルを抜けて通学するこの季節が大好きです。

一年前の秋号では、原生生物学会の参加レポートを記事にしました。今年は「オンライン学会」で発表したのですが、相手が見えない中話し続けることの難しさを体感しました。木村くんが書いてくれた卒論執筆の記事からも、例年には無い苦労がうかがえましたね。彼の文章にもあった通り、これまでに無い困難も創意工夫で乗り越えられる力を養いたいものです。

今年度の「ペデジャーなる」配信も残すところあと一回となりました。次回も学生ならではの目線で、つくばの今、学生の今をお届けしますので、ぜひお読みください！

(生命地球科学研究群 生物学学位プログラム 1年 吉永真理)



○創基 151 年筑波大学 50 周年記念基金のお知らせ



創基 151 年
筑波大学 50 周年記念
50TH ANNIVERSARY OF
UNIVERSITY OF TSUKUBA

筑波大学では、2023 年に向けて、本学各学類・専門学群のご卒業生で、一緒に筑波大学の創基 151 年・創立 50 周年を盛り上げていただけるメンバー（理事）を募集しております。

目標人数 1,000 名！

理事になって、一緒に筑波大学を盛り上げていきましょう！

【理事の概要について】

同級生を中心に、創立 50 周年の広報をお願いしています。

例えば同窓会などでのお声がけや、SNS によるお知らせなどです。

できるだけたくさんの方へのお知らせをお願いしています。

理事に就任していただける方、詳しい説明をご希望の方は、下記お問い合わせ先までご連絡下さい。

■お問い合わせ先■

〒305-8577 茨城県つくば市天王台 1-1-1 本部低層棟 4 階
国立大学法人筑波大学 事業開発推進室

Tell : 029-853-5845 Fax : 029-853-6576

Mail : 50kikin@un.tsukuba.ac.jp

「創基 151 年筑波大学 50 周年記念基金」について
<https://futureship.sec.tsukuba.ac.jp/50thanniversary/>

○筑波大学カード キャンペーン実施中

筑波大学公式クレジットカード「筑波大学カード」新規入会者募集中です！
今なら新規お申込みの方に 2000 円のプレゼントキャンペーンを実施しています。



インターネットからもお申込みいただけますので卒業生の皆様もぜひご利用ください！

《筑波大学カードをご利用の場合》

- ・利用金額の一部が筑波大学基金へ寄附
- ・サービス協力店舗での優待利用可能



カードを提示するだけ！270 以上の店舗のサービスが受けられます。協力店舗について上記をご覧ください！

「筑波大学カード」について
<https://alumni.tsukuba.ac.jp/cashcard.html>

○筑波大学オリジナルボルドーワインのご案内

本学とボルドー大学の連携協定を記念して、ボルドー大学の提携研究機関であるフランス国立農業研究所（INRA）で醸造された「シャトー・クーアン」の特別ボトルを作成・販売しています。



カスミ筑波大学店、プルシェキュート店でお買い求めいただけます。

カクヤスネットショッピングでもお買い求めいただけますので、

こちら

https://www.kakuyasu.co.jp/store/app/catalog/list/?searchWord=%E7%AD%91%E6%B3%A2%E5%A4%A7%E5%AD%A6&searchCategoryCode=0&searchbox=1&bid=searchbox_1 をご覧ください。

✿筑波大学 公式ホームページ: <http://www.tsukuba.ac.jp/>

✿筑波大学 facebook : <https://www.facebook.com/univ.tsukuba.ja>

✿筑波大学 Futureship facebook : <https://www.facebook.com/univ.tsukuba.futureship>

✿筑波大学交流広場「KUTTUK ba」: <https://alumni.tsukuba.ac.jp/>

（筑波大学交流広場／筑波大学生涯メールアドレス 利用登録募集中！）

✿筑波大学アプリ「TSUKUBA FUTURESHP」:

<https://futureship.sec.tsukuba.ac.jp/futureship.app/>

✿編集・発行:「ペデジャーなる」編集ワーキンググループ

✿デザイン・配信作業:国立大学法人筑波大学事業開発推進室

✿ご意見・問い合わせ先:国立大学法人筑波大学事業開発推進室

〒305-8577 茨城県つくば市天王台1丁目1-1

TEL:029-853-2030 FAX:029-853-6576

メールマガジンの一部または全部を無断転載することを禁止します。

© 2020 University of Tsukuba.